66 期生

1 年生学年だより

豊中市立第五中学校　2017 年 5 月 17 日(水)　No.6

先週、緊急の学年集会がありました

ゴールデンウイーク明けの先週、1 年生の中でいろいろと良くないことが続いたので 11 日 6 限後、緊急の学年集会を行うことになりました。内容は不要物の持ち込みについて。学校のルールについてなどでした。

「まあいいや、自分だけじゃないし」
「まあいいや、別に大したことじゃないし」
「まあいいや、自分がされるのは嫌だけど」
「まあいいや、自分のものでもないし、学校なんて汚れても」
「まあいいや、別にばれなきゃ何したって」
「まあいいや、別に怒られたって」

こんな風に考えている人が増えていくと学校はどうなるでしょう。きっと学校を楽しいと感じる人がどんどん減っていってしまうのではないでしょうか。できることなら「まあいいや」と思っている人が自分でそれに気付き直していくことができたらよいのですが、どうしてもできない人、なかなか自分を変えることができない人にはみなさんの力が必要です。前回の学年集会での話を思い出してほしいと思います。

「まあいいや」「ちょっとくらいいいやん」と思っている人に対して、「あかんで」「やめとこうや」という言葉をかけてあげて下さい。

体育館でのこの話を覚えているでしょうか。しかし、話の中にもありましたが、人に声をかける、注意をするということはとても勇気がいることかもしれません。例えば、あいさつや楽しい話を人にすることはお互いに気持ちも明るくなりますし言うのをためらうということもないでしょう。一方で

「あかんで」「やめとこうや」という言葉を言うということは、言ったところで相手が簡単には聞き入れてくれないかもしれませんし、そうした声かけや注意を言う側に説得力が無ければ言えるものではないと思います。説得力がないまま声をかけたり注意をしたりしても、「自分だってできていないことあるやん」というように、きっと簡単には聞いてもらえないでしょう。

「まあいいや」「ちょっとくらいいいやん」と思っている人に対して、「あかんで」「やめとこうや」という言葉をかけてあげる。これは、自分自身が説得力のある行動を心掛けるということにもなりますし、もちろん相手のためにもなることです。また、声をかけてもらったり、注意をしてもらったりする側の人も、そういった言葉を素直に受けとめられる人になってほしいと思います。お互いに注意し合い、声をかけあえる関係というのはとても素晴らしいことです。みんなで協力し、学年を良くしていく。声を掛け合い、支え合う。これらは学年全体のためになることです。

～中間テストの様子～

よく頑張っていたと思います。少し注意してほしい点は、試験開始前にはまだ文房具を触らないようにする、解答用紙回収中にはうるさくしない、などです。意識しましょう。